

科学・イノベーション国民対話専門家センターの創設

5月29日、DIUSは、サイエンスワイズ事業 科学・イノベーション国民対話専門家センター (Sciencewise-ERC: Sciencewise Expert Resource Centre for Public Dialogue in Science and Innovation)を創設した旨公表した。

Sciencewise-ERCは、新興する科学技術による社会への影響に関する議論について、国民との対話をより促進するため、政策立案者に対して面談による情報共有等のサービスを提供する情報ハブである。複雑で論争になり得る科学的な問題について、大臣や官僚が国民の視点や関心を理解するための非常に重要な手段となり得る。

①専門家から成るチームを整備して、省庁及び政府関係機関等に対し面談等のサービスを提供するほか、②省庁及び政府関係機関等による国民対話のためのプロジェクトに対して助成を行う。その他、イベント・展示会やニュースレターの発行等も行う。

本センターが助成するプロジェクト及びサイト上のニュース等をウォッチすることにより、英国で国民対話が必要とされているテーマを知ることができる。

○Sciencewise-ERCの主な目的

国民対話の価値の周知と向上
面談を通じた情報、助言、ガイダンスの提供
グッド・プラクティスの開発と展開
知識と経験を共有するためのネットワーク構築
政府の国民対話の実施能力の向上
政策立案の過程に優れた国民対話の原則を根付かせる

○Sciencewise-ERCの主なサービス

- ・Sciencewise-ERCが提供するサービスの対象は、主に全ての科学技術政策立案者(省庁及び政府関係機関)。
- ・また、利害関係者(科学者、産業界、国民対話・理解増進の推進機関、サイエンス・コミュニケーション・コミュニティ等)とも対話する。

1対1面談
ウェブサイト(ポータル・サイト、検索可能なデータバンク)
ヘルプライン

政策立案者向け講演会(毎月開催)
国民対話のトレーニング WS
ニュースレター(毎四半期発行)
実施者間のネットワーキング
各種イベント・展示会
利害関係者イベント(年に1度開催)

○予 算

- ・Sciencewise-ERC は、科学と社会の対話に関する全体的な政策の一環として、DIUS から財政的支援を受ける。
- ・今後1年間の予算は、127万ポンド(約2.7億円)。うち、115万ポンド(約2.4億円)を上限に、特定の政策課題に関連した国民との対話プロジェクトに対して、省庁及び政府関係機関へ共同助成(Co-fund)として助成する。

○国民対話プロジェクトへの助成

- ・従来のサイエンスワイズは、公募により、国民対話のためのプロジェクトに助成を行っていたが、2008年2月より、省庁及び政府関係機関等からの直接の委託による方式に見直され、Sciencewise-ERCでも採用されている。
- ・現行の助成期間は、2009年3月まで。
- ・プロジェクトの規模

プロジェクトの規模	助成額	助成期間
大規模	20万～30万ポンド (約4,200万～6,300万円)	12か月以上
中規模	10万～20万ポンド (約2,100万～4,200万円)	12か月以内
小規模	3万～10万ポンド (約630万～2,100万円)	6か月以内

- ・プロジェクトは12件(2008年8月12日時点)。先端材料、エネルギー・環境、保健・福祉、情報マネジメント等の分野。

<http://www.sciencewise-erc.org.uk/cms/projects/>

○重点分野

気候変動に影響を与える航空
宇宙探査
研究における動物の利用
汚染管理

医薬
プライバシーとデータ保護問題
家庭でのエネルギー技術と気候変動に対応するための個人の責任
福祉と“ゴールデン・イヤー”
遺伝子組換技術とその開発の便益

○組織体制

(1) Figurehead and Leading Ambassador Lord Robert Winston

- ・専門分野は再生医療(近年は、体外受精治療)。インペリアル・カレッジ・ロンドン(ICL)名誉教授で、現在も再生・発達生物学研究所(Institute of Reproductive and Developmental Biology)で研究プログラムを主導。2008年1月には、ICLではじめての科学・社会の教授(Professor of Sciences and Society)に指名された。
- ・BBCの主要なチャンネル及びディスカバリー・ネットワークで科学と医療に関する人気テレビ番組を書いたことでも有名。
- ・国会の科学技術オフィスの委員会メンバーで副議長、上院の主要メンバー。

(2) 運営委員会(Steering Group)

- ・Sciencewise-ERCの戦略指針と方向性を示すことが役割。
- ・議長は、Kathy Sykes, Professor of Science and Society at Bristol University
共同議長は、Stephen Axford, head of the Science & Society team at DIUS
- ・委員は、関係省庁と外部利害関係者(メディア、チャリティー、専門家等)で構成。

<http://www.sciencewise-erc.org.uk/cms/steering-group-2/>

※委員のリストあり

(3) 国民対話の専門家チーム(DES Team: Dialogue and Engagement Specialists Team)

- ・国民対話に関する専門知識の提供、助成プロジェクトのモニタリング、国民対話のための政府自身の能力開発等を支援する。

<http://www.sciencewise-erc.org.uk/cms/des-team/>

※メンバーのリストあり

(4) Sciencewise-ERCの運営(事務局)

- ・Sciencewise-ERCは、AEA Technology GroupのAEA Momenta社により運営される。

<http://www.sciencewise-erc.org.uk/cms/team/>

ODIUS プレスリリースにおける関係者のコメント

(1) DIUS 政務次官 Baroness Delyth Morgan

- ・政策決定を行う前に、国民が新たな研究分野の社会への影響についてどう考えているか把握することは、非常に重要であり、また、Sciencewise-ERC の創設は、政策決定過程において、より国民の直接的な関与を強めるための重要なステップとなる。
- ・情報、助言、ガイダンス等を一元化し、社会の全ての分野で、相互の対話を行うための最善の方法について、経験を収集・共有することができるようになる。

(2) Sciencewise-ERC 運営委員会議長 Prof Kathy Sykes

- ・過去 4 年間のサイエンスワイズ事業の経験から、国民との対話は、政策立案者が問題についてより幅広い視点で考え、国民の希望と懸念をより理解するのに有効であることが示された。対話に参加した国民は、問題についての理解を深め、議論し意見を聞いてもらうことにより、社会的な権利を与えられたと感じている。

○経緯

- ・2004 年 7 月、科学・イノベーション投資計画(10 年計画)の中で、政策立案のための国民対話の推進が取上げられた。
- ・2004 年 9 月、国民、科学者、政策立案者の対話促進のための助成プログラムとして、サイエンスワイズ事業を開始。
- ・2005 年、科学技術審議会(Council for Science and Technology)で、さらなる推進が提言された。
- ・2006 年 12 月、2006 年度予算編成方針(Pre-Budget Report 2006)で、Sciencewise-ERC の創設が盛り込まれた。

(参考資料)

- ・DIUS プレスリリース (5 月 29 日)
<http://nds.coi.gov.uk/environment/fullDetail.asp?ReleaseID=368850&NewsAreaID=2&NavigatedFromDepartment=False>
 - ・サイエンスワイズ事業 科学・イノベーション国民対話専門家センター
<http://www.sciencewise-erc.org.uk/cms/>
 - ・サイエンスワイズのニュースレター (2008 年 5 月号、Sciencewise-ERC 開始の記事)
<http://www.sciencewise-erc.org.uk/cms/assets/Newsletters/Sciencewise-Newsletter-May 08.pdf>
 - ・サイエンスワイズのニュース一覧
<http://www.sciencewise-erc.org.uk/cms/news/>
- ※英国で国民対話が必要となっているテーマが分かる

(了)